

けっけいな  
おてまへで

もういっぴく  
いかがですか？

## Topic

- 02 施政方針
- 11 洋食&カクテルセミナー
- 12 高島町屋内遊戯場愛称決定
- 40 たかはた咲食楽フェスティバル

### 人口と世帯数

3月1日現在

人口	23,428人
男	11,444人
女	11,984人
世帯数	7,609世帯



# 施政方針

## 「激動」

平成の30年間は、日本や世界が様々な分野において劇的な変貌を遂げた時代でありまし

た。情報技術の飛躍的な進歩がもたらした高度情報化社会は、個人の生活様式を大きく変化させると同時に、国と国との垣根を曖昧なものとし、政治や経済、文化は、今や地球規模で拡大・変化しています。このことは、私たち日本の一地方に住む人間が、激動する世界の潮流から、あらゆる面で影響を受けやすくなったことを意味することでもあります。

また、日本はいまだかつて経験したことのない少子高齢社会を迎えています。当町においてもそれは例外ではなく、少子高齢化やそれに伴う人口減少によって生じる経済や社会保障に対する影響の克服は喫緊の課題となっています。

一方で、国策としての地方創生は未だ道半ばであり、東京一極集中はさらに加速の度合いを深め、地方との格差はますます顕著なものとなっているのが現状です。

この大きな変化の時代にあつて、私たちは新しい発想と柔軟な視点を持ちながら、「一人ひとりがしあわせになるまちづくり」、そして「人口減少社会に対応した将来にわたって持続可能なまちづくり」をめざしていかなければなりません。そのために、住民や行政、地域、企業など、あらゆる人が手を携え力を合わせながら、高島町が持つ潜在的な力を存分に発揮して様々な課題を乗り越えていくことが求められています。

このたび町では、今後10年間のまちづくりの指針となる第6次高島町総合計画を策定しました。総合計画は、まちづくりにおける最上位の計画であり、町で生活するあらゆる人が幸せになるための「道しるべ」となるものです。この総合計画の策定においては、若い世代から高齢の世代まで、多くの人からご意見をいただき、また議論を重ね、これからの高島町をどのような町にしていくなのか、その実現に向けて何を行っていくのかということについて真剣に検討を重ねながら計画を作りあげました。

平成にかわる新しい時代の幕開けと時を同じくして第6次総合計画は産声を上げることになります。私たちが激動する社会にあつても、この計画を抛り所としながら勇氣と行動をもって未来に向け新たな一歩を踏み出していかなければなりません。

今も未来も一人ひとりが「しあわせ」を感じられる持続可能なまちづくりの実現に向けて、町民の皆さまと共にまちづくりの取り組みを推進してまいります。

## 町政の運営方針

平成31年度は今後10年間のまちづくりの指針となる第6次高島町総合計画の始まりの年になります。

これまでの取り組みをさらに発展させるとともに、特に、町民と行政がまちづくりの方向性を共有し実行していく取り組みを重視して展開してまいります。社会経済情勢や行政需要を的確に見定めながら重要度・優先度の高い施策等については積極的に事業展開を図り、目標の実現に向けて取り組むこととします。

また、最終年度を迎える「たかはた未来創生総合戦略」の確実な目標達成に向けて取り組みを加速し、人口減少社会や少子高齢社会という局面にあつても、地域社会への影響を克服し、新総合計画に基づいた将来にわたり持続可能な「たかはたらしい」まちづくりを戦略的に進めてまいります。

### 施策を推進するための重要な視点

平成31年度における主要施策の展開については、「たかはた未来創生総合戦略」を着実に推進し目標達成を確実なものとするため、総合戦略の基本目標を各施策や事業を実施するにあつたつての「重要な視点」として掲げ、主要施策を展開してまいります。

#### 視点①

たかはたの未来を築く子どもや若い世代への応援

#### 視点②

たかはたの特色を活かした産業への支援と雇用の創出

#### 視点③

安全・安心な「たかはた」らしい環境の創造

#### 視点④

たかはたへの人の流れをつくり、新たなつながりを創出

たかはたの未来を築く子どもや若い世代への応援

子育て

子育てで家族の健康を守り、子どもの健やかな成長を支援するため、母子保健を包含した「高島町子育て世代包括支援センター」を拠点とする、妊娠期から子育て期まで切れ目のない総合的な子育て支援の充実を図ってまいります。



▲子育て世代包括支援センターで遊ぶ子どもたち

引き続き0歳から高校3年生に相当する18歳までのお子さんの医療費の無償化を実施し、子どもの健康な発育を支援するとともに、子育てしやすい環境づくりを推進してまいります。

小学生児童の放課後の安全と居場所として機能する放課後児童クラブ「みんなのクラブ」(旧糠野目児童館)を、老朽化による安全面を考慮して改築いたします。糠野目地区については、

放課後児童クラブの利用者が多いことから、2つの放課後児童クラブの定員を増やし、対応していくことといたします。

3歳から5歳までの保育園等の利用料の無償化については、消費税率引上げ時の10月からの実施に合わせ、対応してまいります。

町単独事業として実施している「第3子以降の保育料全額助成」については、保育園等の利用料無償化実施前の半年間並びに3歳未満の子どもを持つ保護者の方に引き続き実施いたします。また、保育園や認定こども園の運営を支援するとともに、放課後児童クラブを利用する要保護世帯及び必要保護世帯についても、利用料の助成を継続して実施してまいります。

子育て支援の環境整備については、旧第四中学校の体育館を有効活用した「屋内遊戯場」を、外構工事完了後の7月中旬に供用開始いたします。天候や季節に左右されない置賜初の屋内遊戯場として開館に向け準備を進めるとともに、子育て世代のみでなく多世代の交流や子育て応援の事業やイベント、相談等にも対応できるようソフト面の充実を図ってまいります。

昨年度から、ひとり親世帯な

どの子どもを対象に実施している「居場所づくり」と「学習支援」では、学習の定着の成果が着実にみられていることから、今後は、より多くの子どもが参加できる体制づくり、子どもの将来の夢実現や生きる力の醸成に努めてまいります。

町内外からの移住定住を希望する若い世代に対しては、生活の拠点となる住宅建設を積極的に支援することで、地域社会と地域経済を担っていく若い世代や子育て世代が、当町で暮らし続け安心して子育てができるよう、若者定住促進のための支援体制を強化してまいります。

学校教育

学校教育については、これから未来を切り拓いていく児童・生徒が、地域や社会と関わりを持ち、生涯にわたって学び合うことで、潤いと活力に満ちた人間形成が可能となる基盤を培うことをめざしてまいります。

そのために、児童・生徒が安心感と充実感を持って学校生活を送ることができるよう環境整備を進めてまいります。具体的には、町内全校の普通教室における空調設備を整備してまいります。また、各小学校の老朽度調査を実施し、大規模改修に向けた準備

備作業を進めてまいります。

また、児童・生徒のつまずきを解消するため、引き続き幼小中連携教育を推進し、施設間の情報共有化を図り、課題を抱える児童・生徒への支援体制の充実を図ってまいります。

学びの場 新図書館

長年の念願でありました「新図書館」は、本年7月の開館に向け整備を進めております。

蔵書数も現在の8万冊から10万冊に増やし、従来の図書館機能である「町民に役立つ便利な図書館」としてだけでなく、多世代が交わりつながる、「多様な学びの交流拠点」として幅広い活用ができる施設にしてまいります。



▲新図書館イメージ図

たかはたの特色を活かした産業への支援と雇用の創出

新たな産業創出と

地域産業の振興

商工業を発展させ、強化していくために、今後さらに進展しようとしている地方創生の流れを見極め、地域の特色や資源を活かした新たな産業創出と地域産業の振興をめざしてまいります。

当町では、いち早く地域ブランドである「たかはたブランド」の認証に力を入れており、品質も良く評価の高い日本酒やワイン、ドレッシングなどの加工食品は、全国に誇れる特色ある地域の物産品に成長しております。今後も首都圏や仙台市でのプロモーションを積極的に展開しながら、当町特産品の更なる知名度向上を図り、企業の経営基盤の安定・強化を図ってまいります。

工業製品等のものづくり分野においては、川崎市産業振興財団との連携により進めている知的財産の有効活用に関して、町内企業へのマッチング事業を進めてまいります。それらを通じたビジネスチャンス拡大のための事業を推進するとともに、町内経済を牽引する企業の新たな取り組みを支援してまいります。

また、平成29年度に設置し「町域活力創生プロデューサー」を軸として、企業と企業、人と人、ものとの結び付いていくような「連携強化」の支援に

より、地域産業・地域産品の優位性を高めてまいります。



▲たかはたブランド認証書交付式

を見据えた西町西工業団地の拡張整備により、町内企業の拡張移転や企業誘致を促進し、安定的な就労環境を整えていく必要があります。工業団地のほど近くに当町へのスマートインターチェンジ設置に向けた取り組みを進めており、双方の計画について歩調を合わせながら工業団地の拡張整備実現に向けた取り組みを推進してまいります。

**多様な働き方の推進と雇用創出**

国において、働き方改革関連法が本年4月から施行されることにより、労働環境が大きく改善されようとしております。当町における課題を払拭するため、様々な支援制度等を活用しながら、町経営者協会や関係機関との連携を図り、労働環境の改善を推進してまいります。

現在、創業支援など中小企業者のための施設として、旧第四中学校を「産業振興センター」として再整備し、本年4月のオープンをめざしております。この施設の活用が図られることにより、新たな起業や雇用創出も期待されます。今後とも産学官金が連携しながら起業・創業のための支援を行ってまいります。

また、最上川右岸築堤工事後

**農林業の振興**

就農者人口の減少や高齢化の進展、また、国際的な貿易協定の発動により、農業生産基盤の弱体化や、農村の維持がより一層困難になることへの危機感が強まっております。

そうした中で、国や県の農業施策や町独自の施策を的確かつ迅速に実施しながら、町内における生産基盤の体質強化と6次産業化を進め、ブランド農産物の生産と農業所得の向上に努め、力強い成長産業となるよう取り組んでまいります。

生産基盤の強化については、農地中間管理事業を活用しながら担い手への農地集積と集約化を図ってまいります。そのためには、各集落等で作成した「人・農地プラン」の定期的な見直しが必要となることから、農業委

員や農地利用最適化推進委員などが中心となり、集落内等での話し合いの活性化を図ってまいります。

昨年より新たな米政策が進められ、行政による生産数量目標の配分が廃止され、生産者、集荷業者及び団体が中心となり需要に応じた生産が行われております。平成31年度は、米政策の見直しを着実に定着させ、米価が安定し、農家が安心して生産できるよう水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施に努めてまいります。

また、就農者の高齢化による労働力不足が深刻化している中で、AI(人工知能)やロボット、ICT(情報通信技術)などを活用して作業の省力化や技術習得の短期化を図る「スマート農業」の実用・普及が急務となっております。当町においても、ぶどうなど導入可能な農畜産物の調査研究を進めてまいります。

置賜地域全体の持続的な発展を目的として置賜3市5町で取り組んでいく「置賜定住自立圏共生ビジョン」の中で、「米沢牛の振興」を掲げております。米沢牛のブランドをさらに向上させるためには、米沢牛の繁殖基盤を強化することが課題となっており、米沢牛飼養農

家と酪農家との連携を進め、置賜各市町と協調した受精卵移植事業(EIT事業)に取り組んでまいります。

有害鳥獣対策については、最近のイノシシによる農作物等への被害が増していることから、電気柵や防護柵等を広域的広範囲に設置し被害を防止するよう、各地域や猟友会と協力し取り組んでまいります。

**商店街のにぎわいと**

**活力を高めるための支援**

地域の商店街のにぎわいを創出することは、町の活性化を図ることにもつながります。当町も大規模店舗の台頭に伴い消費動向も変化する中であって、既存商店街の状況は、経営者の高齢化等により厳しい経営環境にあります。

このような中、若手経営者が中心となり、魅力ある商店街を取り戻すために、個店の強みと差別化を再認識し、新たな方法による顧客獲得などの取り組みを行うております。こうした取り組みが広がりを継続できるよう、商店街や商工会と連携を図りながら支援してまいります。

**特色ある地域産業の強化と**

**経営革新への支援**

当町の基幹産業である農業と食品加工業との連携は、今後の産業振興を図る上で大変重要なものです。これら6次産業化を推進するために、役場関係部署での連携を強めながら農業、商工業の経営強化への支援や担い手の育成に努めてまいります。また、商工業分野に関しては、新たな設備投資に対する中小製造業設備投資等補助事業などにより積極的な支援を行っていくとともに、町内経済を牽引する企業が行う新たな取り組みに対する支援を引き続き行なってまいります。

**安全・安心な「たかはた」らしい環境の創造**

**福祉のまちづくり**

高齢者施策については、団塊の世代が75歳となる2025年に向けて、高齢者や、障がいの有無に関わらず、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の充実を図ってまいります。

具体的には、健康づくりと介護予防の一体的な事業展開、認知症の方への理解や見守り支援

の取り組み、地域の中での支え合いや結びつきを図るための体制づくり、医療や介護が必要な状態となっても、切れ目のない医療・介護サービスが提供できるように、在宅医療介護連携に積極的に取り組んでまいります。

また、昨今は、全国各地において子どもへの虐待による痛ましい事件が発生しております。子どもにとつて最も重大な権利侵害である虐待は、社会全体で取り組まなければならない重要な課題であるという認識を踏まえ、虐待の防止について関係機関と緊密に連携しながら適切かつ迅速に対応してまいります。

障がい者施策については、「第3期高島町障がい者プラン」に基づき、障がいのある人があたりまえに暮らせる地域づくりを推進してまいります。この中で、観光地やスポーツ施設の公衆トイレのバリアフリー化を進めていくとともに、屋外での移動が困難な障がいのある方について、円滑な外出ができるような移動支援事業をさらに充実してまいります。

また、ひとり親世帯の生活向上を支援するために「生活・住まい応援給付金事業」や相談援助など、収入や生活の安定に資する事業の充実を図ってまいります。

**健康づくり・医療**

高齢社会の進展や疾病構造の変化が進む中、町民一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組み、いかに健康寿命を延ばしていくかが重要となっています。

町では、「高島町健康増進計画げんき高島21(第2次)」に基づき、「健康で長生きできるまち」をめざし、生活習慣病予防や重症化予防に重点をおいた取り組みを推進してまいります。

また、「食生活改善推進員」や「健康運動サポーター」など、地域における健康づくりの担い手を養成し、町民への活動を広げ、地域全体で取り組む健康づくりを推進してまいります。

特定健診につきましては、「第3期高島町特定健康診査等実施計画」等に基づき、受診率の向上を図り、早期発見・早期治療に結びつくよう取り組んでまいります。

スポーツについては、「町民一人1スポーツ・生涯スポーツ」の定着をめざし、体を動かす機会が少なくなってきた中高齢者の健康体力づくりを中心とした介護予防運動や、スポーツがあまり得意でない子ども達の遊びを取り入れた体力づくり等、

関係部署やスポーツ推進委員との連携を密にしながらスポーツの振興を図ってまいります。

公立高島病院につきましては、地域医療の拠点として良質な医療の提供に努めるとともに、経営の安定化に向け、「新改革プラン」に掲げた各数値目標の達成に尽力し、地域の皆さまから信頼される病院づくりに努めてまいります。

平成31年度につきましても、更なる医療の質の向上に努め、地域の皆さまに信頼される持続可能な病院経営の実現をめざしてまいります。

また、町民の命と健康を守るという使命のもと、地域包括ケア体制の中核的施設として町内診療所や福祉・介護施設との連携強化を図り、地域に密着した保健医療を提供してまいります。



▲食生活改善推進員による正月料理教室（生涯学習館）

**住民が主体となった地域づくり**

住民総参加によるまちづくりを進めるにあたっては、各地区公民館はとても重要な役割を担う施設となります。引き続き各地区公民館において、子どもから高齢者までの町民一人ひとりが、自らが、いつでも、どこでも学べるよう学習の機会を提供するとともに、学習から生まれる知識・技術を生かすことのできる環境整備を進めてまいります。

二井宿地区においては、長年懸案となっておりました豚舎の悪臭問題が完全解決をいたしました。今後は地元二井宿地区の皆さまと地区の活性化につながる跡地の有効な活用について検討してまいります。

性別や年齢、立場にかかわらずなく誰もが一人の人間として尊重され、その個性や能力を十分に発揮することができる地域づくりを推進してまいります。

**芸術・文化の取り組み**

「たかはた秋まつり」が終了する中、同時開催していた「芸術文化祭展示祭」については、町民の芸術活動発表の場として、より趣向を凝らしながら単独開催の方向で調整してまいります。

また、当町には歴史遺産が多く存在しております。日向洞窟

に代表される国指定史跡等の貴重な遺産を中核に据え、文化財保護活動と観光産業との連携を進めてまいります。

さらに、国指定有形登録文化財の「旧高島駅舎群」は観光施設としての価値も高いため、当時の姿を保存することを前提としながら、保存活用に取り組んでまいります。

**防災・危機管理体制の強化**

全国各地で多発する自然災害を念頭に、特に「自助」「互助」「共助」の観点から、自主防災組織の町内全集落での組織化とその活動支援を行い、「公助」の観点からは、町総合防災訓練の実施や、消防団の自動車ポンプ、小型動力ポンプの更新など装備品の充実・更新に努め、地域防災力の向上・災害への備えをより万全なものとしてまいります。

併せて、町民の生命に危害を加えかねないクマやイノシシ、サル等の有害鳥獣対策をはじめとする多様な危機への対応によつて、町民が安全で安心して暮らすことができる危機管理体制を強化してまいります。

**安全・安心な地域社会にむけて**

交通安全及び防犯対策については、交通事故や犯罪の発生を

一、 郷土を愛し若い力を伸ばし、希望のあるまちをつくりま

抑制するため、警察や関係団体と緊密な連携のもと運動や活動を強化し、交通安全及び防犯意識の一層の浸透と定着に努めてまいります。

消費者被害防止対策としては、全国的に多発している特殊詐欺等による被害を未然に防止するため、関係機関と連携して情報提供、注意喚起等の啓発に努めてまいります。

全国的な課題となつている「空き家問題」については、当町においても人口減少や超高齢社会の進行と関連して対応していかねばならない大きな課題の一つとなっております。

昨年11月には、地元宅建業者等の協力をいただきながら、使用が可能なうちに買い手や借り手を仲介する「空き家バンク」と、危険な状態となる前に所有者に空き家の解体を促す「危険空き家等除去事業補助金」を創設しました。今後もこの問題の解決に向けて、積極的な活動を行つてまいります。

環境に配慮したまちづくり

当町においては、これからも地球温暖化対策を地域から推進するため、住民、事業者、行政が力を合わせた取り組みを推進してまいります。

また、国の「地球温暖化対策推進法」の施行に伴い、当町において、昨年3月に策定した第2次高島町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、当町の公共施設内で発生する温室効果ガスを2013年度比で2030年度までに40%削減する目標を設定しました。

この目標を実現するため、昨年度から国の補助を活用しながら、公立高島病院等に省エネタイプの最新式のボイラーやLED照明を導入する事業を行つております。今年度も引き続き、公共施設へのLED照明等を導入して、環境に配慮したまちづくりを推進してまいります。



▲更新されたLED照明（太陽館）

地域社会を支える

生活基盤の整備

一昨年の東北中央自動車道「福島～米沢」間の開通、また、本年の「南陽高島～上山」間の開通に伴い、新たな「人」や「モ

ノ」の流れが生まれ、地域経済への波及効果が拡大していくものと予想されます。このことから、当町が持つ資源を活かした地域経済の活性化を推進するため、高速道路へのスマートインターチェンジの設置実現に向けて、国が実施する「準備段階調査」を視野に入れた取り組みを強化してまいります。

併せて、高速道路と町主要部を直結する重要な役割を担う国道113号をはじめ、主要幹線道路についても、引き続き整備促進を加速してまいります。

安心して快適に生活するための生活道路の整備につきましては、工事完了年度を迎える「町道本町縦3号線」や継続事業の「町道本町泉岡線」、新規事業として「町道高島小学校西線」改良工事を進めてまいります。

水道事業については、平成28年度から平成30年度の3ヶ年で第1水源地の施設更新に併せ水質改善のための「膜ろ過施設整備事業」に着手し新たな施設が完成しました。

今後は高度成長長期に整備した管路や施設・装置の修繕、更新事業を継続し進めていくとともに、置賜広域水道と自己水源の有効利用を図りながら、安全で安心な水の安定供給と経営の健

全化に努めてまいります。

下水道事業については、下水道区域外の生活環境の保全のため、町設置型浄化槽の整備を継続して推進してまいります。

また、平成29年度から実施している下水道ストックマネジメント計画により、老朽化した下水道管路施設等の調査を計画的に実施し、施設の長寿命化を図り安定した経営に努めてまいります。

交流人口の拡大と

観光資源の磨き上げ

一昨年の東北中央自動車道「福島～米沢」間の開通、また、本年の「南陽高島～上山」間の開通に伴い、当町の観光流動に変化が生じることが予想されます。今後は、その状況を見極めながら、積極的に観光情報等を発信し、新たな観光誘客と観光プロモーションを進めてまいります。

併せて、交流人口の拡大を図っていくうえで、「人」や「モノ」の流れをさらに大きくするための環境の整備は不可欠であることから、道路、鉄道等交通ネットワークに関する整備促進と利便性向上を、関係機関に対して強く働きかけてまいります。当町では、平成29年度から開

催している春の誘客イベント「たかはた咲食祭フェスティバル」や実りの秋に県境を越えて周遊するサイクリングイベント「グル麺ライド」により、北は北海道から南は沖縄まで、幅広く参加者が集まり、新たな観光誘客の拡大につなげてまいりました。今後も、当町の四季折々の強みを活かした周年型観光による誘客を進めてまいります。



▲昨年の咲食祭フェスティバルの様子

インバウンド（訪日旅行）の取り組みとしては、国道113号二市二町観光推進協議会（白石市、七ヶ宿町、南陽市、高島町）と連携し、広域観光の推進に取り組んでまいりました。今後も引き続き事業の推進を図りながら観光客の増加に努めてまいります。また、当町に見合うインバウンド推進のあり方についても合わせて検討していく必要があります。人と人の交流による地域

活性化をめざして、昨年から相互協力協定を結んでいる東京外国語大学の留学生や日本人学生と共に、新たな資源となる産業観光の発掘と既存の観光資源の磨き上げを行い、当町の強みを活かしたブランド化による誘客を進めてまいります。

### 関係人口の拡大

高島町に「関心」を持ち、また「関与」していくという「関係人口」の拡大につながる取り組みを積極的に展開するとともに、他地域や大学等との連携拡大を図ることで、「高島ファン」の取り込みによる交流拡大、さらに移住定住につながるような取り組みを引き続き展開してまいります。

具体的には、旧時沢小学校を活用した熱中小学校プロジェクトを通じて、都市住民や首都圏等の企業経営者、第一線で活躍する人材との交流を促進するとともに、農業研修生や教育旅行の積極的な受入と民泊の拡大、交流体験プログラムの開発等によって、都会では味わえない価値観を共有できる取り組みを推進してまいります。

また、遊休公共施設を活用したサテライトオフィスの提供は、都市部の企業の誘致や町内

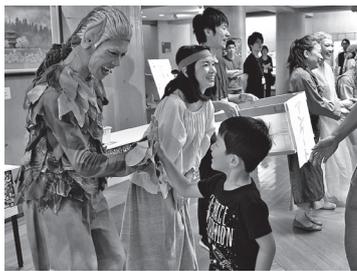
での起業・創業につながっており、今後ますますその役割が期待されます。

特に熱中小学校プロジェクトについては、高島熱中小学校を本校として、全国12市町村でその姉妹校が開校し、または開校準備を進めております。全国的な連携を図ることで、人やモノ、サービスの流れが加速し、さらにそれらが生み出す相乗効果に大いに期待するものであり、特に、平成31年度は、熱中小学校プロジェクトの自立自走に向けた取り組みや地域に根差した取り組みに対して支援を強化してまいります。

平成29年11月に、当町と横浜市栄区は、高島町民と横浜市栄区民との交流を図り、住民相互の友好関係、協力関係を増進することを目的に、「友好交流宣言」を行いました。平成30年度は、当町において栄区の市民劇団が「泣いた赤鬼」をモチーフにしたミュージカルを上演し、町内外の多くの方にご覧いただきました。これからも「栄区民まつり」への参加等の交流事業に加え、相互の市民・町民レベルの交流に発展していくような友好交流事業を進めてまいります。

高等教育機関である大学との連携した取り組みについては、

福祉分野や地域づくり分野において、立教大学、東北芸術工科大学を中心に展開してまいります。特に、立教大学とは20年来にわたり友好的な関係を築いてまいりました。今後も立教大学との関係を強化し福祉や教育の分野においてまちづくりに活かす取り組みを展開したいと考えております。



▲栄区市民劇団のミュージカル「泣いた赤鬼」の上演後、町民と交流を図る様子（文化ホール）

また、今般の情報通信技術の進展により、町の情報や魅力を発信する手段も多様化してきております。変化の速いこの分野において、SNS（ソーシャルネットワークキングサービス）等を活用し、町の情報や魅力を様々な媒体を通してリアルタイムで発信し、共感が得られることで新たなつながりを創出する取り組みを展開してまいります。

さらに、行政情報をはじめ各種サービスに関する情報を、インターネットやSNS等から提

供することで、情報社会の利便性を広く享受できる取り組みを行ってまいります。

### 持続可能な行財政基盤の構築

町が管理する公共施設等の維持管理・更新にあたり、「公共施設等総合管理計画・個別施設計画」に基づき、旧第三中学校校舎の解体・除却及び体育館の改修設計に取り組んでまいります。

また、役場庁舎を含む周辺施設一帯の適正配置を検討するため、庁舎内部に「(仮称)庁舎建設推進委員会」を立ち上げ、予備調査に備えてまいります。財政が厳しい中にあっても事業費の平準化を図りながら、計画的かつ着実に実施し、将来世代に多

大な負担を課すことのないよう、公共施設及びインフラ施設の効率的かつ効果的な維持管理を推進してまいります。

厳しい財政的制約のもとで持続可能な地域づくりを展開していくには、地域の多様な主体との協働が必要になります。町民・地域・企業・NPOなど多様な主体と連携してまちづくりを進めることができる「協働力」がこれからの職員には求められます。同時に様々なアイデアや意見を取り込み、実行していく「政策形成能力」が求められており、これらの課題に組織として真摯に取り組み、町民の期待に応え得る人材の育成に努めてまいります。

## 結びにあたって

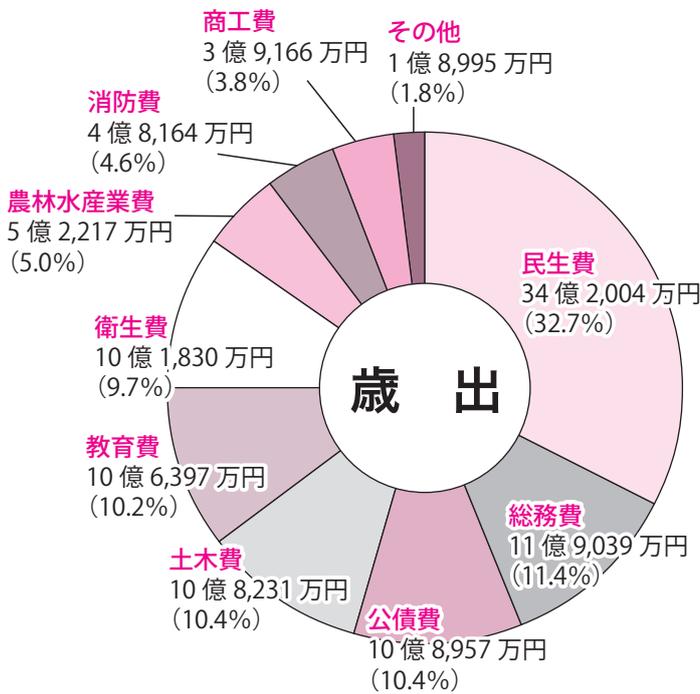
成が終わりを迎え、時代の大きな転換期にある現在、将来にわたって地域社会を維持していくうえで、私たちの目の前には多くの課題が待ち受けています。そのような中にあっても、幸せあふれるまちづくりをめざし、積極的に施策の展開を図ってまいりたいと考えております。

あらためて、町民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

▼問合せ先／町企画財政課 ☎(52)11112

# 万円 昨年度比 10億3,000万円の減額

## 歳出 町民一人当たりに使われるお金 446,047円



町の人口 23,428人(平成31年3月1日現在の住基登録者)

### 歳出の性質別分類 (一般会計)

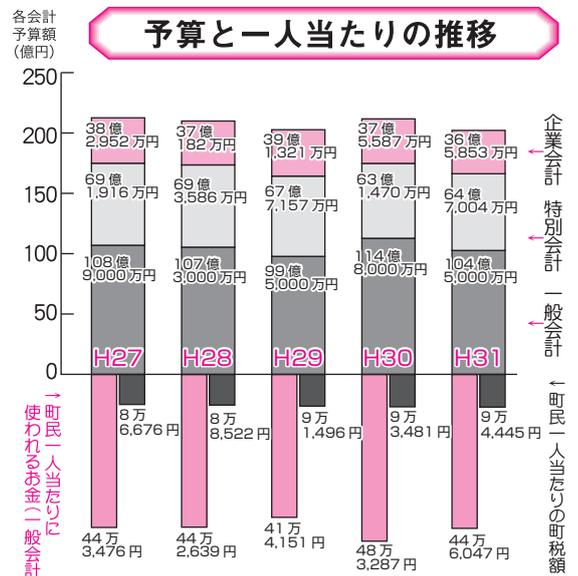
区分	金額	構成比
義務的経費	人件費 17億475万円	16.3%
	扶助費 17億5,520万円	16.8%
	公債費 10億8,957万円	10.4%
投資的経費	普通建設事業費 10億3,329万円	9.9%
	災害復旧事業費 12万円	0.0%
その他	物件費 13億7,347万円	13.1%
	維持補修費 2億1,181万円	2.0%
	補助費等 14億385万円	13.4%
	積立金 1,187万円	0.1%
	投資及び出資金 1億6,042万円	1.5%
	貸付金 2億670万円	2.0%
	繰出金 14億8,395万円	14.2%
	予備費 1,500万円	0.1%
	合計	44億6,047万円

### 一般会計の主な事業

道路新設改良事業	1億3,905万円
旧第三中学校解体整備事業	1億3,890万円
屋内遊戯施設整備事業	8,000万円
放課後児童クラブ整備事業	7,150万円
橋梁長寿命化修繕事業	7,000万円
小学校改修事業	4,418万円
都市公園整備事業	3,440万円
小学校老朽度調査事業	3,106万円
高齢者いきいき活動支援事業	1,752万円
デマンド交通運行事業	3,468万円
福祉医療費	1億9,139万円
放課後児童クラブ推進事業	3,858万円
ひとり親家庭等生活向上支援事業	525万円
環境基本計画推進事業(防犯灯LED化等)	636万円
保育料軽減事業	2,588万円
母子保健事業(乳幼児・妊婦健診事業等)	3,528万円
各種健診等住民保健事業	4,839万円
ごみゼロモデル事業(生ごみ資源化等)	792万円
農地維持・資源向上支払交付金事業	1億1,544万円
耕作放棄地対策推進事業	210万円
プレミアム付商品券事業	927万円
げんきな高島イベント開催事業	750万円
グル麺ライドイベント事業	170万円
小学校LED化事業	100万円
人材養成事業(中高生海外派遣、国内研修派遣)	255万円
地域学校協働活動推進事業	760万円
図書館ICT化事業	947万円

注) 万円未満~四捨五入

### 予算と一人当たりの推移



# 一般会計予算額 104億5,000

平成31年度高島町一般会計予算は、104億5,000万円で、対前年度比で10億3,000万円、9.0%の大幅な減額としました。

歳入のうち、町税、地方交付税および臨時財政対策債等の一般財源は67億2,190万円で、前年度比3,584万円、0.5%の増額を見込みました。町税は、町民税などの減額、国の地方財政計画により、地方特例交付金は1億4,970万円の増額、地方交付税は4,000万円、臨時財政対策債は6,500万円の減額を見込みました。

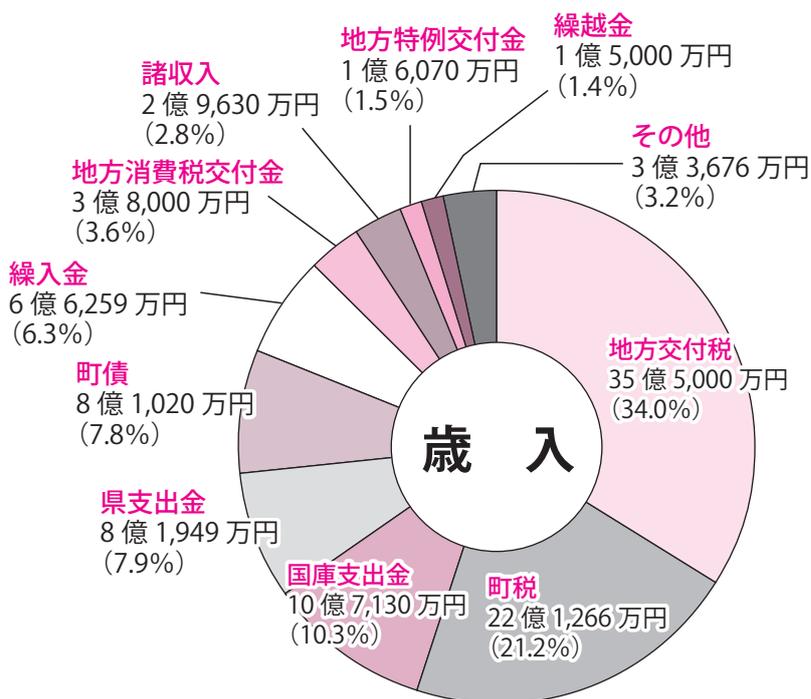
主な事業としては、地方創生推進事業、子ども子育て支援事業、18歳までの医療費無料化事業、図書館施設整備事業、屋内遊戯施設整備事業、放課後児童クラブ整備事業などを予算化し、町民の福祉および生活環境の向上に努める予算としました。

一般会計と特別会計、企業会計の予算総額は205億7,857万円で、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計などの増額と、病院事業会計や水道事業会計などの減額により、前年度比9億7,200万円、4.5%の減額としました。

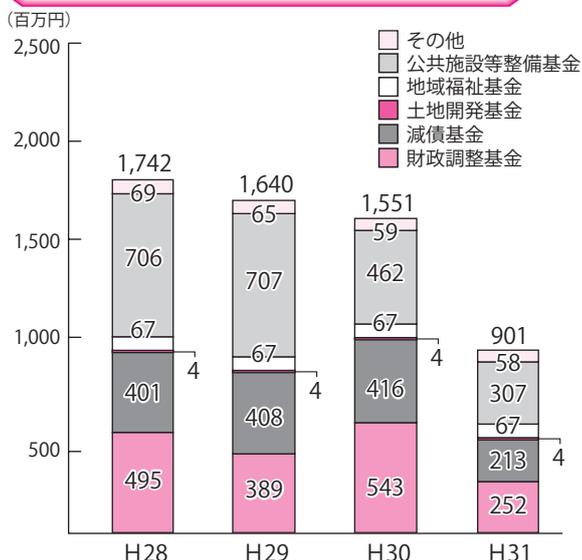
## 歳入

### 町民一人当たりの町税額

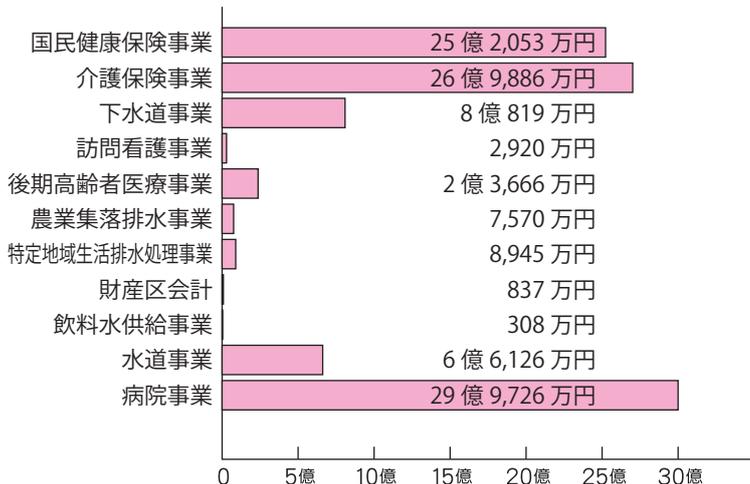
# 94,445円



### 一般会計の基金(貯金)の状況 (年度末残高)



### 特別会計・企業会計予算



# 山形県議会 議員選挙

その1票が  
新しい時代を創る

投票日は  
4月7日(日)

- 投票所・時間/町内17か所 7時～20時
- 開票所・時間/町中央公民館2階大会議室 21時～

▶問合せ先/町選挙管理委員会事務局  
☎(52)3154

## 期日前投票所

仕事や外出などの予定があり、投票日当日に投票ができない方は、期日前投票を行ってください。投票所入場券裏面の宣誓書をご記入のうえ持参いただき、下記の期日前投票所までお越しください。

### 高畠町役場期日前投票所 (役場1階第5会議室)

- 期間/3月30日(土)～4月6日(土)
- 時間/8時30分～20時

### 生涯学習館期日前投票所 (情報交流室)

- 期間/4月4日(木)～4月6日(土)
- 時間/9時～17時

## ＝JR高畠駅利用拡大事業＝ まほろば町民号 第31回親子ふれあい列車

とれいゆつばさで行こう!!

### スパリゾートハワイアンズの旅

- ▶催行日/7月6日(土)
- ▶旅行代金/大人 9,200円  
小学生 7,500円  
幼児 1,400円
- ▶定員/120人
- ▶申込締切/5月31日(金) ※定員になり次第締切
- ▶申込・問合せ先/(一社)高畠町観光協会 ☎(57)3844

お子様には  
「おやつ袋と飲み物」、  
大人の方には  
「飲み物」がつきます

#### 《行程》

高畠駅発 8:50頃 ⇒ 福島駅 ⇒ 福島西IC ⇒  
“とれいゆつばさ”貸切バス

昼食(バイキング)  
⇒ 湯本IC ⇒ スパリゾートハワイアンズ着  
11:50頃

貸切バス  
スパリゾートハワイアンズ発 ⇒ 湯本IC ⇒ 米沢北IC ⇒ 高畠駅着  
16:00頃 18:30頃

<旅行取扱> 東日本旅客鉄道(株)びゅうプラザ山形駅

## 日本赤十字社 社費の御礼

平成30年度に町のみなさんから寄せられた日本赤十字社社費は4,127,636円(5,788件)でした。社費は日本赤十字社山形県支部へ送付後、国内外の災害、献血事業、救急法講習会等の資金として活用させていただきました。ご協力誠にありがとうございました。引き続きご支援よろしくお願ひ申し上げます。

▶問合せ先/町福祉こども課  
地域福祉係 ☎(52)3564

# 洋食&カクテルセミナー

2月26日(木)高島町産の農畜産物やワイン、くだものジュースを使った「洋食&カクテルセミナー」を、当町と20年来の交流がある(株)京王プラザホテルから講師を招き開催しました。

町内の飲食店や食品加工会社などを対象に、新メニューや新商品開発につなげることを目的に実施したもので、参加者は、間近で実演された一流のシェフやバーテンダーの技法を学びました。

## （株）京王プラザホテルと高島町の関わりについて

(株)京王プラザホテルの名譽総料理長であるフランス料理界の巨匠緑川廣親(みどりかわひろちか)氏に高島産ラ・フランスの品質を高く評価いただいたことをきっかけに、平成7年より当町とのつながりが続いており、毎年11月に「ラ・フランス フェア」として、高島産のラ・フランスを使用したスイーツ等のメニューを提供いただいています。本フェアは平成30年度で22回目の開催となり、高島産ラ・フランスのブランド力向上につながっております。

## 第1部 洋食セミナー

講師：(株)京王プラザホテル 取締役総料理長 市川 博史 氏

リンゴを使用した代表的なフランス料理「鶏モモ肉とリンゴのソテー」と、それに高島版のアレンジを加えた「豚肉とリンゴのソテー カルバドス風味 つや姫のバターライス添え」の2種類を実演いただきました。クリーミーでコクのあるソースと豚肉のうま味に、リンゴの酸味や食感がアクセントとして加わった、笑顔がこぼれる一品です。

### 豚肉とリンゴのソテー カルバドス風味 つや姫のバターライス添え

豚肉とリンゴのソテー(4人前) .....

#### ○材料○

- ・豚肉(バラ、肩ロース) 7~8mm厚さの一口大にカット.....320g
- ・リンゴ(紅玉) .....1個  
(皮をむき、8カットのクシ切りを4カットの一口大にカット)
- ・カルバドス酒.....40cc
- ・白ワイン.....60cc
- ・水.....80cc
- ・市販のクリームシチューの素(顆粒) .....10g
- ・バター.....適量
- ・サラダオイル.....適量
- ・塩.....適量
- ・胡椒.....適量
- ・パセリのみじん切り.....適量

(使用した町内産食材：豚肉、リンゴ、つや姫、町内産ワイン)

#### ○作り方○

- ① 豚肉に塩、胡椒し、フライパンにサラダオイル、バターを入れ、綺麗に色付け、リンゴも入れ、色付ける。ザルにあけて脂を取る。
- ② フライパンに豚肉、リンゴをもどし、カルバドス酒でフランベをし、白ワインを入れ、フライパンに付いた旨みを落とし煮詰め、水を入れる。かるく煮込む。シチューの素を入れ、塩、胡椒で味を調える。
- ③ 皿に盛り上からパセリを振る。



### ワンポイント

- ① カルバドス酒...フランスノルマンディー地方のりんごのブランデー
- ② 通常はホテル伝統のフンドボーと生クリームを使用しますが、今回は手軽に作れるよう市販のクリームシチューの素を使ったレシピを考案いただきました。

## 第2部 カクテルセミナー

講師：(株)京王プラザホテル 料飲部長 渡辺 一也 氏

カクテルの定義や歴史等の解説を交えながら、高島町産の素材を活かしたカクテルを実演いただきました。混ざり合い、調和のとれた果樹の味わいが楽しめるほか、淡くひかりがかった色あいに視覚からも美味しさが伝わります。



### TAKAHATA Bellini 高島ベリーニ

- ・スパークリングワイン(高島ワイナリー) .....60ml
- ・ラ・フランスジュース(すりおろし) .....60ml
- ・グレナディンシロップ.....小さじ1杯

①シャンパングラスに材料を注ぎ軽くかき混ぜる。



### Orchard オーチャード(果樹園)

- ・りんごジュース.....30ml
  - ・ラ・フランスジュース.....30ml
  - ・ぶどうジュース.....30ml
  - ・フレッシュライム.....5ml
  - ・シュガーシロップ.....10ml
- ①氷を入れたグラスに材料を注ぎ軽くかき混ぜる。  
②フルーツのスライスカットをグラスにつめ、ミントの葉を飾り、ストローをさす。



(使用した町内産飲料：ワイン、各種くだものジュース)

## ◎ 高島町屋内遊戯場 ◎

愛称

# もっくる **決定**

7月末にオープンする屋内遊戯場の愛称を募集したところ、162作品と多くのおみなさまからご応募いただきました。ありがとうございました。

この度、選考委員会を経て、次のとおり決定しましたので、発表します。

▶問合せ先/  
町福祉こども課  
☎(52) 1 3 0 2



### 最優秀賞「もっくる」

\*吉田 文子 さん (入生田)

愛称の意味・考えた理由

- ・木来る (もっくる) 木造の建築の施設である。
- ・もっと来る・もう1回来たい

\*加藤 晴 さん (一本柳)

愛称の意味・考えた理由

- ・こどもたちが木の中でくるくる遊ぶ様子をイメージしました。

最優秀賞のお二人には図書カードを進呈します。

抽選の結果、以下の3人の方に記念品を進呈します。

- \*豊原光惺さん (糠野目)
- \*近野渚さん (上平柳)
- \*佐藤綾子さん (高島)

## この春から始めよう!

### 「エコ通勤・エコドライブ」

春になり、行楽等で車の使用が増える季節です。車の使用を控え、徒歩や自転車を通勤で利用する『エコ通勤』や、環境に配慮した運転『エコドライブ』を始めてみませんか? エコ通勤やエコドライブは温室効果ガス削減につながるだけでなく、ガソリン代の節約にもなります。また、ゆとりのある運転は交通安全にもつながります。

みなさんもできることから始めてみましょう!

### エコドライブのコツ

- ふんわり発進  
(時速 20km まで5秒間かけて)
- 車間距離にゆとりをもって、  
加速・減速の少ない運転を心がける
- 無駄なアイドリングはしない
- 不要な荷物は降ろす

▶問合せ先/町生活環境課 ☎(52) 1 2 4 5

## 春先の入山にご注意ください

### クマにご注意ください!

- ◎クマにとって森林は自分の領分。人は侵入者です。周囲への警戒を怠らずクマとの遭遇に注意しましょう。
  - ◎音の出る物 (ラジオやクマ避けの鈴) で、人の存在をクマに知らせましょう。
  - ◎子連れのクマに注意してください。母グマは非常に神経質で危険です。できるだけ早く遠ざかりましょう。
  - ◎食べ残しやゴミを山に残すことはクマを呼び寄せる大変危険な行為です。ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ※集落に近い場所でクマを目撃した場合や出没した形跡を見つけた場合は、下記へご連絡ください。

▶問合せ先/町総務課危機管理係 ☎(52) 3 7 4 4

山菜採り・行楽など、春先の山では楽しいことがいっぱいですが、その一方で、クマとの遭遇や有毒植物を食べてしまうなど、思わぬ事故の危険もあります。入山の際には下記のこと十分に注意しましょう。

### 有毒植物に気をつけよう!

- ◎山菜は、食用と確実にわかっているものしか採らない・食べないこと。
- ◎生え始めの山菜と有毒植物の区別は難しいので、慎重に観察して採取すること。
- ◎食べられる山菜と有毒植物が入り混じって生えていることが多いので、採取時や調理前には十分注意すること。
- ◎安易に譲り渡したり、譲り受けたりしないこと。
- ◎吐き気や痺れなどの体調不良が見られたときは残品を持ってすぐに医療機関で受診すること。

▶問合せ先/県食品安全衛生課 ☎023(630)2677

# 子育て通信

みんなで子育てを

楽しみましょう

みなさん、高島町の子育て支援センターをご存知ですか。総合交流プラザの中にある、お子さんとおうちの方がいっしょに遊べる施設です。広いプレイルームは、走りまわって遊べます。無料で利用でき、第2・4土曜日にも開所しています。「まだ利用したことがない」「うちの子はまだ小さいから」という方は、ぜひ一度遊びにいらしてください。親子が元気になる、子育てが楽しいと思える居場所になるようスタッフが笑顔でお待ちしております。

4月から新しく変わります

◎健康相談日

①保健師相談日

- ▼期日／毎月第3火曜日
  - ▼時間／10時～11時30分
  - ▼内容／町保健師さんによる、身体測定
- ②ことばの相談（今年度より）

- ▼期日／毎月第3火曜日
- ▼時間／10時～11時30分
- ▼内容／専門の先生による、ことばの相談を個別にお受けします。

◎みんなの広場

- ▼期日／毎月第2・4水曜日
- ▼時間／10時～11時
- ▼内容／親子でいっしょに歌ったり、体を動かしたり、製作やゲームなどをしてふれあい遊びを楽しみます。
- ♪第4水曜日は、お誕生会をします。
- みんなでお祝いしましょう。

◎出前広場

和田、亀岡、糠野目地区の出前広場は、3月で終了となりました。4月からは、支援センターに遊びに来てください。

▼問合せ先／子育て支援センター  
(町総合交流プラザ内)  
☎(51)0350

4月のみんなの広場

仲良くあそぼうね！  
▼期日／4月10日(水)

4月の育児講座

ベビーヨガ・ママヨガ  
お子さんといっしょにおうちの方もリフレッシュしましょう！  
▼期日／4月19日(金)

- ▼時間／10時～11時15分
- ▼持ち物／バスタオル・飲み物
- ▼対象／生後3か月(首がすわってから)～1歳(歩き始め)のお子さんとおうちの方
- ▼講師／島谷芽久美氏
- ▼定員／15人程度
- ▼参加費／無料

▼昨年みんなの広場のようす  
「これからもよろしくね！」



▼昨年の育児講座のようす  
「赤ちゃんもママもリラックスして」



## Children

### 未来っ子登場

満1歳になるお子さんを募集します♪

平成31年5月号に掲載するのは、平成30年5月中に生まれた町内在住のお子さんです。



すずき かんな  
鈴木 カンナちゃん  
平成30年4月2日生  
(青葉町)

笑顔いっぱい、すてきな  
おんなのこになーれ！



みながわ みお  
皆川 愛桜 ちゃん  
平成30年4月9日生  
(根岸)

我が家のおてんば娘



こせき はるき  
小関 陽樹 くん  
平成30年4月16日生  
(元和町)

食べるの大好き！  
いつも笑顔の男の子

- ♪ 申込締切／4月4日(木)
- ♪ 申込先／町企画財政課 広聴広報係 ☎(52)4476
- ♪ 申込書がございましたので、写真を持参のうえ町企画財政課までお越しください。現像済み写真・データ共に可能です。写真は編集の後ご返却します。

## 地域に感謝を伝える



高島小学校6年生は、「卒業プロジェクト」として、お世話になったことへの感謝の気持ちを、様々な方に伝える取り組みをしています。

2月26日(火)には、地域の方や施設への感謝を気持ちを表すために、町役場や町立図書館など町内5か所を訪れ、清掃活動を行いました。

児童たちは、持参したぞうきんで水拭きや乾拭きなどに取り組み、とても丁寧な清掃作業に、どの施設もピカピカになりました。高島小学校6年生のみなさん、素敵な取り組みをありがとうございました。

## 長年の防災活動を称えて



2月18日(月)、県庁で平成30年度消防関係功労者表彰式が行われ、まほろば荘災害協力会(会長:我妻武宣さん)が、県知事表彰安全功労章を受章しました。この章は、地域の安全と災害の防止もしくは、被害の軽減に尽力した個人または団体に贈られるもので、同会は発足以来30年、まほろば荘の様々な災害に備えて活動してきた実績が高く評価され、今回の受章に繋がりました。

受章された会のみなさんおめでとうございます。

## 将来について考える



2月16日(土)、糠野目生涯学習館にて高校生向けに地元企業の説明会が行われ、高校生や保護者47人が参加しました。地元企業が一同に会し高校生向けに説明を行うのは今回が初めての取り組みです。町内に事業所を有する9社の企業が、「自社の特徴や魅力」「取り扱う商品やサービスの詳細」「どんな人材を求めているか」等について説明を行いました。

参加者は、前のめりで説明を聞き、熱心に質問するなど、積極的に参加していました。終了後のアンケートでは、「高島にどんな企業があるのかを知ることが出来た」「成功の秘訣や、色々な経験の話が聞けて自分のためになった」「視野が広がった」等のコメントが寄せられました。

参加した企業からは、「自分の進路を真剣に考える高校生の姿に胸を打たれた」「地元企業を知るきっかけとして継続してほしい」と意見があがりました。

## 美しい自然と平和を願って



2月26日(火)、赤いレーシングスーツで素敵なクラシックカーに乗った「ピース&ネイチャーラリー」のみなさんが役場を訪問されました。創始者であるジョン・タメヌヌ氏や旧ユーゴスラビアのセルジュ・カラジョルジュヴィチ皇太子、デヴィ・スカルノ夫人、町在住の自然農法実践家中川吉右衛門氏など、フランス・イタリア・ロシア・そして日本と多国籍なメンバー約20人のみなさんは、東京→福島→山形区間の約1,100kmを、生産年の古い歴史あるヒストリックカーで走行し、平和を祈願するという取り組みをされており、日本では2回目の開催となります。告知期間が少なかつたにも関わらず、約50人の町のみなさんが集まり、たかき・はたきとともに、あたたかくお迎えしました。

## 涙と笑顔の巣立ちの日

3月16日(土)、高畠中学校で卒業式が行われ、222人が大きな希望を胸に母校を巣立ちました。様々な場面で歌と触れ合ってきた生徒たち。3年間の集大成となる心のこもった合唱は、会場を感動の渦に巻き込みました。

また、18日(月)には町内各小学校で卒業式が行われ、6年生計221人が母校をあとにしました。在校生からの心のこもった“呼びかけ”や合唱に時折目を潤ませながらも、6年間の思い出を胸に新たな一步を踏み出しました。在校生が卒業生を見送る門出式では、互いに笑顔で声を掛け合う晴れやかな旅立ちとなりました。



高畠中学校



亀岡小学校



糠野目小学校

## まもなく開通！！



東北中央自動車道(南陽高畠IC-山形上山IC間)の開通の前祝いとして、3月17日(日)に「開通記念イベント」が催されました。会場では記念の植樹が行われたほか、開通する区間をバス見学ツアーが行われました。この区間の開通は4月13日(土)15時、さらなる交通の利便性に期待が高まります。

## 上手にできました～！



2月23日(土)、屋代児童館では今年度最後のお茶会が開かれました。ごぞの上に座った保護者の前に、着物姿の園児がお茶の道具を持ち座ると、お茶菓子を勧め、お茶を点てるなどの一連のお茶の作法を披露。緊張しながらも上手に振る舞えた園児と、成長を感じた保護者の笑顔でいっぱいのお茶会になりました。

## 表現豊かに民話を披露



2月16日(土)、第11回まほろばの里民話フェスタが文化ホール「まほら」において開催されました。町内全地区そろっての発表は今回が初めてとなりました。発表した42人の児童は、地域の語り部の会の方々に1年間ご指導をいただいた成果を存分に発揮し、表現豊かに身振り手振りを交えた語りを披露しました。

会場からは笑い声や拍手が飛び交い、温かい雰囲気の中民話フェスタとなりました。

## 平成最後の大笑い！



2月24日(日)、「第29回世代交流歌謡フェスティバルねほだれ大会」が、町文化ホールまほらで行われました。町内各地区の老人クラブや若者グループなど20の団体個人が出演し、ユーモラスな劇や、華麗な踊り・自慢の歌声を披露しました。

今年の最優秀賞には、役場若手職員による「マロン歌劇団」が輝き、会場を巻き込んでの踊りに大いに盛り上がりました。

# 年間賞の発表

思いあふれる文芸の数々

平成30年度の広報たかはた文芸欄に掲載された作品は俳句123点、短歌72点、川柳109点、詩21点の合計325点でした。その中から最高賞と佳作を選者に選定していただきました。表彰式は6月2日(日)に開催する「投稿者と選者のつどい」の中で行います。

## 短歌

### 最高賞

朝焼けの空に一羽の鳥のゆく  
幸せ運びて羽ばたきゆくか

馬頭 渡部美代子(11月)

### 《選者のことば》

すがすがしい朝空に一羽の鳥がはばたいている。自分に幸せを運ぶ鳥にちがいないと前向きに捉える作者の心を感じます。

### 【佳作】

ミステリーツアー月山道を  
潜りしも何処へ行くか今だわからず

柏木目 中村康子(5月)

このバスはどこへ向かっているのか、作者のハラハラドキドキがこちらにも伝わってきます。

子等遊びし砂の上には足の跡  
イの字とハの字に離れてあり

下和田 渡部忠一(5月)

子どもたちが帰った砂場は静もり足跡だけが残っています。イの字とハの字を捉えたのは孫への愛があればこそ作れる歌です。

## 高橋 杜代子・選

髪の毛指に絡めてピンを挿し  
馳せし集いに初対面多し

高島 後藤瑩子(7月)

合に行つたが見知らぬ人ばかりでがっかりした。張り切つた様子とがっかりした心のギャップを捉え面白い歌になりました。

盆に打つおりんの響き涼やかに  
故人を偲ぶ一日の朝に

相森 太田邦夫(11月)

先祖の魂を迎えるお盆は格別の日です。朝からおりんをならし花を供え準備を整える、作者の几帳面さがうかがえます。

ひと月も早く終えたる雪囲い  
差がつけられたと隣人言いき

塩 森 渡部一博(2月)

雪囲いは雪国に暮らす私達の大切な仕事です。一か月も早く終えた作者の真面目さが伺えます。隣人との何気ない会話にも人とのつながりを感じます。

## 俳句

### 最高賞

薫風とゴールする童らみな真顔  
一本柳 愁葉子左徹(7月)

### 《選者のことば》

薫風の中、爽やかな空気に励まされ、懸命に走る子どもたち。薫風とゴールするに、子どもたちの命が輝く。みな真顔に、まなざしの優しさが伝わってくる。薫風に本当にふさわしいのは、いきいきとした子どもたちだと、納得させられる句です。

### 【佳作】

聞き返す返事は遠し青田風  
深 沼 寒河江孝子(7月)

青田の上をやさしくそよぐ風。風に身を任せていると、誰かに話しかけても、返事が何だか遠いところから聞えてくる。茫洋とした心地よい青田の季節に、連れて行かれるような句。季節感を捉えて見事です。

霰ごと線香花火煙めきて  
安久津 一瓶あんじゅ(9月)

線香花火は、火花が飛び散り最後にぼとりと落ちて終わる。最後の瞬間まで見つめ、その一瞬を捉えた。この句で、そういえば霰が煌いていると、発見させられ、俳句のよさを教えられ

## 村上清江・選

たよりに感じました。

稲架空きて遠き山並戻りけり  
馬頭 渡部美代子(11月)

稲架の並んでいる、晩秋の風景は今も宝物のように感じられる。稲が収穫された後の風景を稲架空きてと捉えたこの句は、身近に身を置いた人にしか作れない。低い視点からの、遠望を美しく捉えています。

流れ来る倒木の黙秋寒し  
高島 大塚喜久能(11月)

高島には多くの川が流れている。橋も多い。豪雨の後の景だろうか。どこにどんなふうに着た木か、何も語らないからこそ、多くの事を感じさせられる。倒木に人生や社会まで語らせているようです。

農魂の窶れ農地やそぞろ寒  
竹 森 阿部とよ(11月)

祖先が苦労に苦労を重ねて、豊かなまほろばの里に変えてきた高島町だが、休耕田や耕作していない農地が眼につくようになってきている。農魂の窶れが自然に起きているとは思えられない。やつれさせられていると思う。その無念の想いが、そぞろ寒の季語に凝縮されています。

## 最高賞

「お母さん」

福 沢 慈 照 娘(8月)

お母さん

今日は母の日だよ。

「……」。

お母さん、

今日はお花だけだよ。

「……」。

お母さん、

見て、カーネーション

きれいだよ。

「……」。

お母さん、いつもみたいに

「きれいだな、おしょうしな」って

言わないんだね。

「……」。

お母さんてばっ！

四月二十一日

母は逝ってしまいました。

澄まし顔した母の写真を前に

私は何度も

「お母さん」と呼んでいます。

涙が溢れて止まりません。

「お母さん、ありがと」と供えた

「母の日」の花は、

とてもきれいだけれど

悲しくて、悲しくてたまらない

のです。

お母さん。お母さん。

私はどうとう、一人ぼつちにな

りました。

お母さん……。

## 《選者のことば》

人間の最期、この地上での

別れほど悲しいものはない。

送る人、送られる人どちらも

悲痛の極みである。

送る人、送られる人どちら

が悲しいか。生前は、死に行

く人の方は圧倒的に不安に満

ち悲痛の極みである。しか

し死の瞬間や死後は、残され

た人の方が強いのではなから

うか。これは送る人と送られ

る人との間の関係、つまり「愛

情」の深さによって大きな差

が生じる。「ひとり」は在宅か、

病院か、施設かとよく議論に

なるが、どちらにせよ悔いの

残らぬように手厚く愛と優し

さをもつてみることであり、

送られる人にとっては心配や

苦痛がなく穏やかにやすらかに

死を迎えることができれば、

いだろうか。間をとりもつ医

師のありようや家族との関係

も大事な要素として欠かせな

い。

今回の詩は、深い愛情でつ

ながったあたたかい母子関係

が伝わってくるし、亡き後も

深い愛情で結びついているこ

とを、直截の表現によって読

者に伝わる。人間は死んで終

わりではない消息を今更なが

ら知らせてくれる。ここに宗

教が介在する意味も解き明か

してくれているのではないだろ

うか。

「老母と息子の愛犬」

一本柳 石田重吉(4月)

老母と愛犬、ぴったりの関

係。人間同士はこつはいかな

い。愛には愛で応えるペット

の単純率直な姿に余命半年の

老母の姿が重なる。

## 最高賞

母米寿まだまだ卒寿白寿まで

「米」 高 安 村上禅月

《選者のことば》

少子高齢化が進む今日です

が、健康で長生きを目指したい

ものです。卒寿、白寿までの長

寿をお祈りするとともに最高賞

を選出しました。

「幸」 亀 岡 大槻京子

自分てつかむ幸せもあるかと

思いますが、周りから貰う、何

気ない小さな幸せがあることも

素敵なことですね。

故郷は心を癒す椅子がある

「故郷」 金 原 菅野信一

両手足をのびのびと伸ばせる

故郷への安心感が現れています。

冬五輪結ぶ平和の大会旗

「結」 夏 茂 小浅 昭

ひたむきに練習に取り組んだ

選手達の晴れ舞台。スポーツを

通して世界中の平和が結ばれて

ほしいものです。

和の心持てばいずれば愛となる

「愛」 石 岡 川井みよ

愛すると言葉にするだけでな

く、和の心で皆を尊ぶ姿勢を大

切にしたいですね。

心打つ母の言葉が忘れられぬ

「打つ」 二 井 宿 高橋とく江

相手を思つ言葉ほど飾らなく

ても伝わりますね。幼い日の母

からの言葉が私も思い出されま

す。

## 投稿者と選者のことば

「投稿者と選者のつどい」を開催します。年間賞を受賞されたみなさんにご出席ください。また、「これから投稿してみたい」、「つどいに興味がある」人など、お気軽にお問合わせください。

○日時／6月2日(日)10時〜

○場所／屋代地区公民館

◆問合せ先／町企画財政課

「文芸欄」 ☎(52)4476

# 俳句

清村江 選

# 文芸

# 短歌

高橋 杜代子 選

百歳をめざす夫つまぬて木の芽張る

高 島 大塚喜久能

寄せ書きに描きし未来卒業期

安久津 二瓶あんじゅ

春泥の足あと廊下に猫眠る

深沼 寒河江孝子

生若布浜の宅配水詰め

高 島 渡辺未知子

叱りつつ抱きあげている子猫かな

一本柳 佐藤幸子

若者ら浸す種糲ねぐ命

竹 森 阿部とよ

手の平の薄氷とおき日たぐりよせ

夏 茂 竹田美千子

南天の実を紅白に雪時雨

上和田 鏡たか子

対岸にたった一個の路の花

塩 森 皆川京子

川沿ひを行く春雲と歩を合せ

馬 頭 渡部美代子

熊起こす雪消の沢の音高し

一本柳 愁葉子左徹

春霞黒墨の山見え隠れ

柏木目 中村康子

ひよっこりと鼻歌交じる春一番

泉 岡 渡部一宏

春一番めざめし熊のおおあくび

高 島 長沢弥生

明け方に山呼び起こす春一番

二井宿 秋葉典彦

春の空晴れて大鷲高く飛び

高 島 相田 承

猫柳水の瀬音に芽が競う

下和田 渡部忠一

学童の弾んで響く雪あそび

高 島 大河原京子

待春や雪をかふるる遊園地

夏 茂 小浅 昭

立春や紙面色めく梅便り

福 沢 佐藤津多

造形美崩す一雨里の雪

旭 町 川村祐一

元旦を気高く思ふ人心

相 森 太田邦夫

東峰に春到来の神の風

安久津 高梨忠美

無住寺の地に這う紅き敷椿

選 者 詠

白斑まらち雪解け半ば鈴沼なかにの

山は豪雪今日に語らむ

高 島 相田 承

古き友卒寿過ぎしと断りて

年に一度の賀状も絶つと

相 森 太田邦夫

亡き友の優しい眼差しあの笑顔

時過ぎるも脳裏離れず

相 森 太田京子

陽を浴びて福寿草が咲く一番に

山の斜面を黄水玉に

亀 岡 大槻京子

映画終えて孫の一言「感動した」と

車中に残る余韻さめやらす

高 島 金子協子

転勤に喜ぶ家族遠方へ

家の守りは祖父母に願ひ

旭 町 川村祐一

地方紙に協会写真ロシアかな

藤山ふじやま一郎いちろうニコライの鐘

(ロシア正教)

入生田 栗田憲夫

厳寒夜母の自慢の鍋味は

幾年経てど心に沁みる

夏 茂 小浅 昭

愚作の句昭和の終りに拾われし  
召人ならん平成のむすびに

高 島 佐々木美峰

四月より曾孫中学我卒寿

高校姿もと夢は果てなく

福 沢 佐藤津多

降る雪は光の帯に浮かされて

雪の衣の神の仏あり

安久津 高梨忠美

もうとうに忘れた筈の恋なのに

なぜふり返る君に似た人

元和田 田中千鶴子

吹雪く日も朝早くより除雪する

夏より冬が好きと言う孫

柏木目 中村康子

長靴が重く感じる散歩道

白鳥三羽に別れを告げる

塩 森 渡部一博

御詠歌の鈴の音響く本堂に

冷たき床に足はしびれて

下和田 渡部忠一

目をさまし五体の動く喜びに

感謝をこめてさあがんばろう

馬 頭 渡部美代子

雪解けの春を待ちわび入学の

準備を急ぐ母のいぬ子と

選 者 詠



▼作品の送り先は:  
〒092-0392 大子高島4306

町企画財政課「文芸欄」まで。

俳句、短歌、川柳部は部門を明記

のうえハガキ一枚に。

詩部門については便箋等に記入し、

封書にてお送りください。

住所・氏名・電話番号を忘れずにお

書きください。

なお、俳句は当季の作品を1人3

句、川柳は1人2句までとします。

【次回×切り日】

俳句・短歌とも

平成31年4月30日(火)

## 新図書館 情報

# いよいよ新高島町立図書館が完成!!

平成30年6月から9か月間を費やし待望の新図書館が完成いたしました。

新しい図書館は、玄関を入ると左手奥の児童書コーナー（約50m先）まで見通せる開放感にあふれた自慢の書架が立ち並び、読書・学習・パソコンができる座席を、合わせて100席設けております。

建設コンセプトである、

## 出会い、学び合い、繋がり合い、助け合い、喜び合い、「しあわせの学びへ」

を実現するため、皆様には今まで以上にご利用いただくことができるよう、7月下旬の開館まで準備をすすめてまいります。



- ① 児童書コーナーまで見渡せる書架
- ② 作品発表やイベントができる「展示室」
- ③ 中庭を望める「読書スペース」
- ④ 素足で木材の温かみを感じながら、絵本に親しめる「えほんのへや」
- ⑤ 静かに読書できるスペース「静読室」

## 開館までの期間ご不便をおかけします



**4月1日**より、新図書館オープンに向けての準備作業のため、**7月下旬まで休館**となります。

皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

※インターネット（OPAC）予約及び調べもの相談などのサービスも休止いたします。

※山形県立図書館のインターネット予約貸出サービスについても、休館中は受取館にご指定いただけませんのでご了承ください。

▶問合せ先／町立図書館 ☎(52) 4 4 9 3

## 【まちづくり出前講座】

生涯学習によるまちづくりの一環として、生活の中で町民のみなさんに知っていただきたい町の事業や施策などについて、業務を担当する町職員が地域に出向き講師をつとめます。

No.	講座名	担当課	No.	講座名	担当課
1	自主防災組織の活動	総務課	32	女性のための健康づくり講座	健康長寿課
2	防災(災害)に対する心構え		33	感染症予防と予防接種	
3	住宅用火災警報機設置と防火の備え		34	健診結果からヒモ解くあなたの身体	
4	正しく理解しようマイナンバー		35	知ってますか? 成年後見制度	
5	町のおさいふ事情	企画財政課	36	デマンド交通で出かけよう!	農林振興課
6	これからのまちづくり～総合計画～		37	農業の振興策について	
7	男女共同参画って、なあに?		38	森林を知ろう	
8	これからの公共施設について ～個別施設計画～	税務課	39	高島町食育地産地消推進計画について	農業委員会
9	町税のしくみ		40	農地について	
10	国民健康保険税と後期高齢者医療保険料のしくみ		41	農業者年金のすべて	
11	国民健康保険のしくみ	町民課	42	まちなか歩きのおすすめ	商工観光課
12	後期高齢者医療制度について		43	高島町の産業のようす	
13	ご存知ですか? ジェネリック医薬品		44	観光によるまちづくり	
14	介護保険制度について		45	たかはたブランドって何?	
15	いろいろあります! 介護サービス	生活環境課	46	高島町の都市計画	建設課
16	ごみ分別に迷ったら		47	道路や河川のはなし	
17	包む、結ぶ おしゃれな風呂敷結び		48	地籍調査って何?	
18	エネルギーを賢く選ぼう!		49	住宅の耐震診断・改修のおすすめ	上下水道課
19	「COOL CHOICE」でSTOP! 温暖化		50	下水道のしくみ	
20	はじめよう! エコドライブ		51	水道のしくみ	
21	簡単! 安心! せっけん生活		52	高島町の文化財	社会教育課
22	子育て支援と保育サービス	53	高島町の歴史		
23	広げよう 地域のつながり	54	図書館はこんなところ		
24	広げよう 地域の支えあい	55	公民館ア・ラ・カ・ル・ト		
25	子どもの未来が広がるように	福祉子ども課	56	自治公民館の活用法	選挙管理委員会
26	障がいのある人もない人もともに生きるやさしいまちをめざして		57	地域における生涯スポーツの振興	
27	認知症サポーターになろう!		58	地域づくりの主役はあなたです	
28	健康寿命を伸ばそう!	健康長寿課	59	選挙について	議会事務局
29	みんなで楽しくからだを動かそう!		60	選挙の主役は君たちだ!	
30	おいしく食べて健康げんき		61	関心ありませんか? 身近な議会のこと	
31	「シナプソロジー」を体験しよう		62	健康ですごくために	高島病院
		63	上手なお風呂の入り方		